

営業収益は、カード事業、ショッピングクレジット事業、決済事業の主要3事業が堅調に推移し、491億円(前年同期比4.5%増)。
 営業費用は、利息返還損失引当金の8.5億円積み増しや、貸倒関連費用・販売促進費の増加などにより、434億円(同5.0%増)。
 この結果、経常利益は56億円(同0.4%増)、四半期純利益は49億円(同2.0%減)。

1. 要約損益計算書

		FY2013 3Q累計	FY2014 3Q累計	前年同期比	FY2014業績予想*	
					通期	進捗率
営業収益	1	470	491	4.5%	670	73.3%
営業費用	2	413	434	5.0%		
販売費及び一般管理費	3	396	417	5.2%		
人件費・物件費等	4	349	356	2.0%		
クレジットコスト	5	47	61	29.2%		
貸倒引当金繰入額	6	47	52	11.2%		
利息返還損失引当金繰入額	7	-	8	-		
金融費用	8	16	17	0.7%		
営業利益	9	56	56	0.2%	90	62.9%
経常利益	10	56	56	0.4%	90	63.1%
四半期純利益	11	50	49	-2.0%	80	62.1%

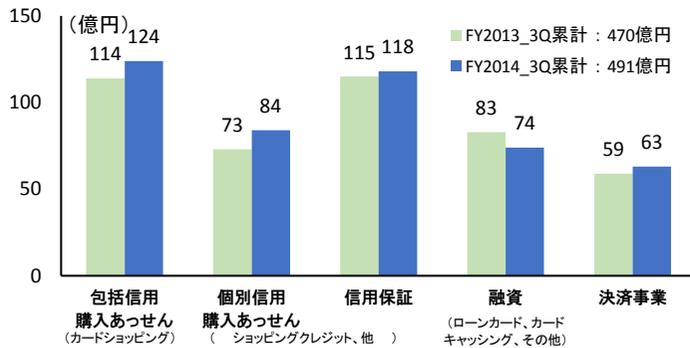
*2014年5月8日公表

<アプラスグループ中期経営計画(平成25年度~平成27年度) 重点戦略>

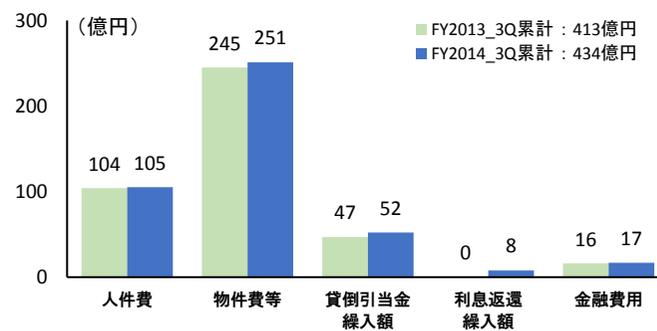
- ①最終消費者への直接的サービスの提供
 - ・オークションサイトの個人間売買に対応した目的ローンの取り扱いを開始(ローン事業)
- ②カード事業の一層の強化
 - ・「Tポイント」提携先ではない先への「Tポイント」機能提供による提携カード発行(カード事業)
- ③ショッピングクレジット事業/決済事業の安定的成長
 - ・「Tポイント付きショッピングクレジット」利用促進(ショッピングクレジット事業)
 - ・「アプラスeオーダー」の利用可能な加盟店網の拡大(ショッピングクレジット事業)
 - ・「家賃サービス」「コンビニ決済」が伸長(決済事業)
- ④商品間、新生銀行グループ会社間クロスセル強化
 - ・新生アプラスゴールドカード会員を対象に、新生銀行提供の「パワースマート住宅ローン」利用の際の優遇プログラム開始(カード事業)
- ⑤住関連ビジネスの有効活用
 - ・住宅購入の際の諸費用等を対象としたローン商品「マイホームプラン」を推進(ローン事業)

2. 部門別営業収益

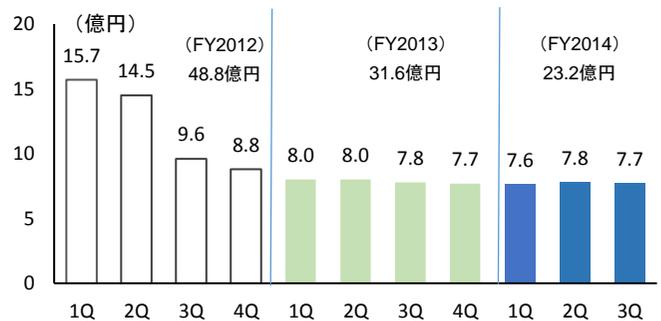
※グラフには金融・その他収益を含まない



3. 営業費用内訳

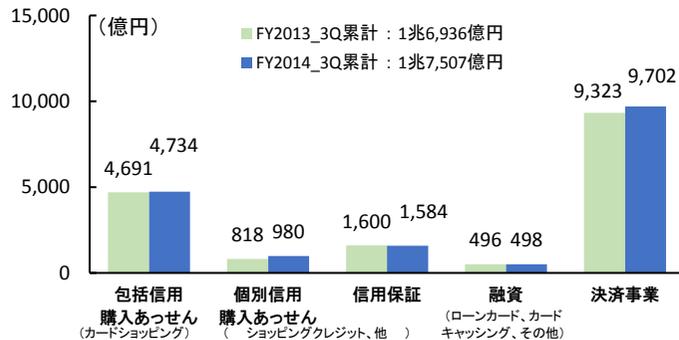


4. 利息返還実績四半期推移



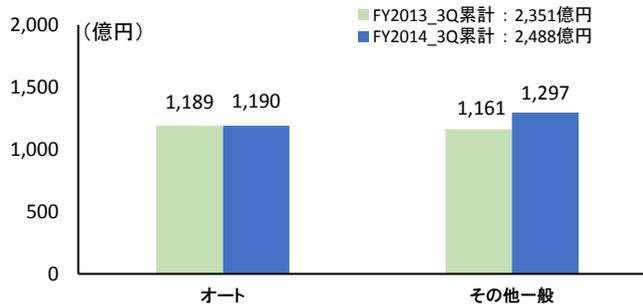
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない



6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あっせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳

